

## 当科にて奥歯が生えてこないことで矯正歯科治療を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学水道橋病院矯正歯科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

### 1. 研究課題名

下顎第二大臼歯の萌出障害の要因に関する検討

### 2. 研究目的

歯があごの骨の中に埋まって口の中に生えてこないことを萌出障害といいます。特に下顎第二大臼歯と呼ばれる下の奥歯（親知らずよりひとつ手前の歯）は12歳頃に一番後ろから生えてきますが、これはかみ合わせにとって大切な歯です。この歯に萌出障害が起こることは時々見られますが、この原因としては歯やあごの大きさ、生えてくる傾きなどに影響していることが知られていますが、具体的にどのような要因がどの程度影響しているかは知られておらず、萌出障害の予測などもつきにくいと考えられます。この研究の目的は下顎第二大臼歯の萌出障害に影響を及ぼす要因を調査し、これによって予知的な治療を行える可能性を拡げることです。

### 3. 研究方法

調査の対象となるのは、2015年1月1日から2021年12月31日までに当科を来院され、第1期矯正治療（こどもの矯正治療）を受けられた方が対象となります。研究資料は治療上撮影したレントゲン写真、歯の石膏模型を使用し、これらを分析いたします。萌出障害が生じた方と正常に下顎第二大臼歯が生えてきた方のデータを比較することで結果を検討いたします。

### 4. 研究期間

本研究は2022年6月30日から2023年3月31日までを研究期間として予定しております。

### 5. 個人情報等の取り扱い

当該研究で取り扱うすべてのデータについては患者様のお名前の代わりに通し番号で表すことで個人情報の保護をいたします。その番号とお名前を対応させる表を別に作成いたしますが、その表につきましては研究責任者が責任をもって保管いたします。また、その他の個人情報（顔写真、お名前等）については、適切な処理（目隠し等）を行い、学会発表等で用いることはございますが、一般公開等はいりません。

表やその他の個人情報は研究責任者が鍵のかかる棚に責任を持って保管終了時まで管理いたします。

### 6. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

本研究に使用した情報等については5年間鍵のかかる保管庫に研究責任者の管理の下、保管し、その

後に廃棄いたします。

## 7. 研究協力の撤回について

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記研究責任者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

## 8. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

これまでの治療の中で撮影したレントゲン画像やお口の模型を使用いたしますので、当該研究によって患者様に何らかの負担が生じることはございません。また、今後の治療に対して何らかのリスクや不利益・利益等が生じることもございません。

## 9. 研究に関する情報公開の方法

本研究の情報公開は東京歯科学会にて発表・論文発表として行う予定です。

## 10. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

## 11. 本研究の費用について

本研究への参加によって患者様に新たに費用が発生することはありません。また謝金の発生やその他利益相反についてもございません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

### お問い合わせ先

東京歯科大学歯科矯正学講座

研究責任者 立木千恵

連絡先

東京歯科大学水道橋病院矯正歯科

03-5275-1724